

ソフトウェア  
開発



プロジェクト管理・  
スケジュール管理導入による  
緊密な情報交換、  
人事評価の改善、間接業務時間  
の短縮で残業時間半減

株式会社アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング

- 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2-16
- 代表者：代表取締役社長 金山 英範
- 設立：昭和61年8月
- 従業員数：115名
- 事業内容：ソフトウェア開発（オープン系・WEB系）
- URL：http://www.ase.co.jp/



## ビジネス上の「課題」

- ・新卒・中途の採用が困難  
→ノウハウのある人材を離脱させない工夫、入社したくなる魅力づくり
- ・技術者レベル向上の仕組みづくり

従業員満足度向上

## IT導入の「狙い」

- ・公平性の高い、実力次第で昇進できる人事評価の体制づくり
- ・残業削減による就業環境の改善
- ・従業員満足度＝顧客満足度の達成

管理ツールの導入

## IT導入の「効果」

- ・月報などのコメントが10倍に増加
- ・従業員のスキルアップ・満足度向上
- ・社内コミュニケーションの向上
- ・残業時間が月平均40Hから20Hへ

生産性向上・社内の活性化

（株）アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリングは、昭和61年札幌市に設立、翌年に現在の札幌テクノパークに本社社屋を完成させ、平成11年には東京支店を銀座の自社ビルに移転させるなど、首都圏企業からの受託開発を中心としてきた。25年には日本ニアショア開発推進機構によるニアショアベンダー認定を第1号で取得するなど、大規模社会インフラ系を中心に実績を重ねている。最近ではアジャイル開発手法、Scala・Ruby・C#言語などを導入したWEB系システムの開発にも取り組んでいる。

## 従業員満足向上とスキルアップの両立

「ソフトウェア技術を通じて、社員とその家族、関係するすべてのお客様の幸せを追求する」という理念を基に経営してきたが、これまで現実には「従業員よりも顧客満足」を優先してきた。しかし、人材採用難の中で技術者の質がますます問われる時代となり、ノウハウのある人材を離脱させない工夫、入社したくなる魅力的な会社づくりによって従業員の満足・納得に一層力を入れることが必要となってきた。

そこで、従業員満足の向上とスキルアップの両立を図るため、プロジェクト管理とスケジュール管理に情報システムを導入し、人事評価の公平性を高め実力次第で昇進できる体制をつくりつつ、残業過多によるメンタル不調の撲滅、将来性のある仕事への挑戦、技術レベルの向上を促進する仕組みづくりをゲーム感覚で達成できるように取り組むこととした。

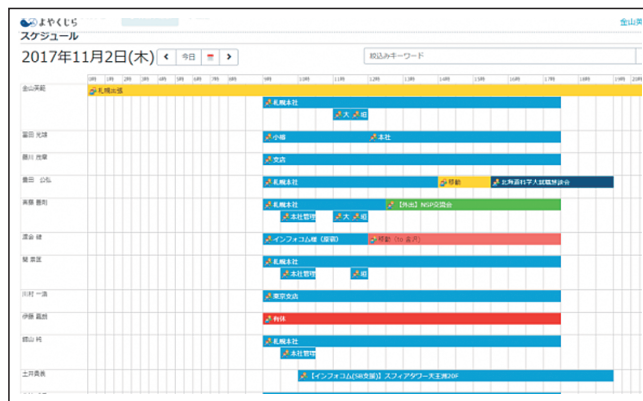
## 社内コミュニケーションの円滑化で残業半減

納得感のある人事評価システムの構築にあたっては、担当者ごとの原価管理表の作成や、仕事の取り組み姿勢に対する個人評価表の作成、さらには、評価を上げるための目標管理や昇進・昇格ルールの明確化に取り組んだ。

プロジェクト管理には「Redmine」というオープンソースソフトウェアを導入し、プロジェクトの進捗管理、月報、情報共有に活用した。

スケジュール管理では、自社開発のクラウド型予約システム「よやくじら」を個人や他社員のスケジュール管理・調整、備品や会議室の予約のほか社内イベントの参加管理などにも活用している。

なお、多くの社員がかかわるこれら情報類をシステム化し「ITを道具として活用」する一方で、賞与面談、管理職合宿、全社会議など重要な場面では人間同士のアナログによる意思疎通を重視している。これらの取り組みの成果として、社内コミュニケーションの円滑化、査閲・承認の迅速化、スケジュール調整の効率化、技術資格取得者の増加などが実現し、従業員の士気向上が図られ、月平均40時間だった残業時間も20時間に半減した。



「よやくじら」でのスケジュール管理

## ITコーディネータから一言

情報を共有しオープンにすることで、従業員全体への会社内の情報周知、スキルアップ、従業員満足度向上につながり、管理職同士にもいい刺激になった事例です。この実績の背景には、ITを道具として捉え、面談、会議、合宿、プレゼン練習など、アナログ的なものはIT化せず、人と人とのコミュニケーションを重視したことがポイントです（石塚）。